

# 郷土食の良さをもっと多くの人に伝えたい

令和4年度岩手県食の匠認定者

佐藤 ひとみ さん

さとう・ひとみ 76歳 浅沢第1



昭和23年生まれ。二戸市出身。夫、息子と暮らす。平成17年から市食生活改善推進委員、28年から同委員会の副会長を務め、郷土料理の伝承活動を行う。好きな言葉は「手間暇惜みず、コツコツと」。

「多くの人に協力してもらい、食の匠に認定してもらったことができた。これからも多くのの人に郷土食の良さを伝えていきたい」と、にこやかに話すのは郷土料理「姫竹と身欠きにしんの味噌煮」で昨年12月23日、食の匠に認定された佐藤ひとみさん。本市では10人目となります。

二戸市から旧安代町に嫁いで来たときは「5月なのに雪が降っていて、なんと寒いところに来てしまった」と驚いたという。市内産の姫竹と身欠きにしんに自家製のみそで調理した「姫竹と身欠きにしんの味噌煮」は行事や来客があった時に振る舞う安代地区の郷土料理。義母から教わって以来、毎年作り続け、技術を高めている。昔から食べられ、受け継がれてきた郷土料理を家族や子ども、地域のの人に食べてもらいたいと思いい、40代の頃から郷土料理の講師や農村体験の受け入れを



丁寧に下処理して作られた姫竹と身欠きにしんの味噌煮

始めた。講師を務める中で「地元の人だけではなく、外国の人にもおいしいと言ってもらえて食べてもらえたことがうれしかった」と長年続けている食育活動の思い出を振り返る。

「地産地消を心掛け、季節ごとの食材の味を大切にする郷土料理を愛する人を増やしていきたい」と語る佐藤さん。市食生活改善推進協議会の活動を通じて「地域に伝わる郷土料理をできるだけレシピに残し、次世代に継承していきたい」と今後の活動に意欲を示している。

【広告】

不眠症、自律神経症、不安神経症、眼・視力の悩み

薬のプロフェッショナルが  
あなたのご相談を承ります

漢方のあさひ薬局

西根中学校前店(旧 西根病院前)

八幡平市大更24-1-118(西根中学校前) TEL.0195-70-2311

■編集後記

▽県民の森の人気企画「七滝の水瀑ツアー」に同行。ガイドの小松さんが多彩な切り口で展開する動物の説明をBGMに、スノーシューで2時間ほど歩みを進めると、眼前に巨大な水瀑が出現し、思わず「おおーっ」。自分が知らない魅力が意外と近くにありました。  
▽本県で7年ぶり開催された白銀国体。選手たちが競技している姿はとてもしっかりと見られました。本大会を最後に現役引退する永井秀昭選手も見事優勝を果たしました。国体が無事に終了できたのは競技役員やボランティアの皆さんのおかげです。ありがとうございました。

（雅）

